

安心安全情報

防災行政無線を整備します！

災害時等の情報伝達体制を強化するために、市内全域を対象とし、防災行政無線（同報系）を今年度整備します。近年、防災に関する情報はテレビやラジオ、携帯やスマートフォンなどを通じ、身近なものになりつつありますが、このシステムでは戸別受信機「防災ラジオ」を設置することで、市からの防災や行政に関する様々な情報をデジタル音声放送で知ることができます。

また、市内 29 箇所に屋外拡声子局（屋外スピーカー）も設置します。

なお、工事の際にご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

◆受信できる情報の例

防災に関する情報、災害時の避難情報など、行政情報、地域（区など）の情報

●問・危機管理課 TEL 23 - 1175

みんなで学ぶ 子育て広場

子ども食堂に行ってみよう！

子ども食堂は、子どもや親子に限らず幅広い年齢層の人に無料または安価で食事を提供する場で、全国的に広がっています。市内でも、新たなコミュニティの形として、安心して食事ができる場所づくりを目指した取り組みが行われています。

名称	実施場所	開催日	連絡先
子育て広場	社会福祉協議会	第 2 土曜	23 - 3466
ふれあい食堂	レストラン夢	第 4 土曜	23 - 4478
ふれあい食堂	夷守宮農研修館	偶数月の 第 2 土曜	23 - 4478
ふれあい交流 食堂元気 De 荘	旧大塚荘 (ゆ〜ばるのじり前)	第 4 土曜	44 - 3108
みまつ食堂	小林市農村環 境改善センター	5,7,8,10,12 月 の第 3 日曜	27 - 3739
にっこば ふれあい食堂	西小林公民館	偶数月の 第 4 土曜	27 - 0027

●問・子育て支援課 TEL 23 - 1278

ALT (外国語指導助手) コラム

トランペットと一緒に新年のお祝い

リスキー先生

私が経験した日本のお正月は静かで、親しい家族だけでお祝いしていました。一方、インドネシアでは、お正月に大きな音をさせて祝います。12月から花火、爆竹、トランペットを売る屋台が道路沿いに立ち並んでいます。インドネシアのトランペットは、様々な大きさと形があります。インドネシアの人は、購入したトランペットを持って、友だちや家族と一緒に街のメインストリートを歩き大晦日を祝います。花火、爆竹、トランペットを吹いて、年を越します。とっとうるさいけど、本当に楽しい時間です。こういったインドネシア式のお祝いを懐かしく思います。



(訳：満留由紀子)

トニーの Kolumne (コラム)

ノ ル ド ド イ チ ェ ト リ ス テ ッ セ
Norddeutsche Tristesse
(北ドイツの寂しさ)

ドイツの冬はとても暗い季節です。クリスマスやお正月のおかげで短い間その事実が忘れられますが、1月に入ると祭日の暖かい記憶が段々頭から離れ、特に北ドイツの冬の寂しさはもう無視できなくなります。自然光は朝 10 時から午後 3 時半までで、日差しで体が温められる感覚はもう覚えられないほど、太陽の不在で苦しむ季節です。ドイツの冬から逃げて、日本に来たと一度冗談で言ったことがあって、もちろん逃げた訳ではないですが、少しでも本音が入っていたかもしれません。南九州でも寒い日もありますが、ドイツの冬と比べれば、あまり恐ろしいものではありません。ここでは太陽がちゃんと顔を出してくれるからです。

